

令和7年度水上村子ども議会会議録

令和7年10月 6日
午前10時00分開会
於 水上村役場 議場

開会 午前10時00分

-----○-----

○議長（川俣真人さん） みなさん、おはようございます。議長の水上学園9年の川俣真人です。本日の出席議員は15名です。令和7年度子ども議会を開会します。これより会議を開きます。

-----○-----

会議録署名議員の指名

○議長（川俣真人さん） 会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、3番議員余利峻さん、6番議員野田健さんを指名します。

-----○-----

会期の決定

○議長（川俣真人さん） 会期の決定を議題といたします。お諮りします。会期につきましては、本日、一日としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○議長（川俣真人さん） 異議なしと認めます。会期は本日、一日と決定いたしました。

-----○-----

○議長（川俣真人さん） 私たち水上学園9年生は、社会科の公民分野で地方自治について学習しました。また、総合的な学習で福祉、伝統文化、自然環境、地域産業、国際理解、防災、まちづくりについて調べ学習を行いました。2022年から成年年齢が18歳になり、中学生としても水上村の現状と課題を知り、今後に生かしていく必要があると思っています。

今回の子ども議会をとおして、さらに考えを深めていけたらうれしいです。

本日は大変お忙しい中、中嶽村長をはじめ、水上村役場の各課の課長にも出席していただきました。本当にありがとうございます。

本日の出席議員は15名です。どうぞよろしくお願いします。では、まず「子ども議会」を始めるにあたり、中嶽村長よりご挨拶をいただきたいと思います。

○村長（中嶽弘継君） はい、議長。

○議長（川俣真人さん） 中嶽村長。

○村長（中嶽弘継君） 皆さん、おはようございます。只今ご紹介いただきました水上村長の中嶽です。子ども議会、今年、水上学園9年生の皆さん16名、この議場にいらっ

しゃると思いますが、始まる前にご挨拶申し上げたいと思います。

この議場に入りますとどうですか。緊張されますか。ここは神聖な議場です。この議長さんの後ろの方に鳩が15羽描いてございます。これはですね、昭和57年にこの役場庁舎が出来ました時に水上村議会議員の定数が15名でした。ということで、15名の議員さんを表すという意味で、鳩を15羽描いてございます。しかしその後、人口が減少してきてたりして、今は定数8名ということで減っておりますので、そういったこともご承知おきいただければと思います。それから、議会と言いますと、本会議と言いますけれども、二つの種類がございます。一つは定例会、もう一つは臨時会です。定例会と言いますのは、条例で定例会を開かなければならないということで、これまた規則で年4回開催するということが決まっていますので、3月と6月と9月と12月の年4回開催されます。その中で、この水上村の様々な問題、課題、予算等々について、村民の代表であります議員の皆さんが8名、皆さん方と色んな協議をしたり相談をしながら、そこで議員の皆さんのご理解を得ながら解決していく。そういったものを定例会と言いまして年4回開催しています。その他、臨時会というのは、今言いました3月、6月、9月、12月、どの月にも属さない月であったり、その開会日まで間に合わなかったりした場合には、必要に応じて臨時会という会議を開催することになります。そこでも同じような案件を皆で協議していただいて、そこで協議をした後に政策にしていくということでございます。更にまた急ぐ場合にはですね、例えば大きな災害が起きたり、その場合には議会を開く暇がない、そういった場合には地方自治法の規定に依りまして、専決処分というのがございますので、その専決処分を執行部の方で行い、それを後日開いた議会で議会議員の皆さんに承認をいただくというようなことで、そういった段取りで進められていくものが議会でございます。そういったことで簡単ですけどもご承知おきいただければなと思っております。今、議長さんの方から成年年齢の話があり2022年ということでございます。2022年、今から3年前から、やはり世の中も成熟化しておりますから、私ども人間の方もそれぞれ様々な考えを持つようになって成人年齢を引き下げる必要があるであろうということで民法の改正が行われて18歳になりました。それを遡ること9年程前になりますが、2015年の6月に公職選挙法が改正されました。そして選挙権の付与というのが18歳に引き下げられました。その施行は2016年の6月からということでございまして、2016年、その年の6月の国政選挙からそれが適用されているということです。そういったことでございますので、その付近も覚えておいていただければなと思います。やはり生徒さん方はもう15歳です。ということになれば18歳から選挙権が付与されますので、色んな政治とか経済、行政ですとか財政、そういったものに興味を示していただきたいと思っていますし、その一環が今日の子ども議会であろうかなと思います。皆さん方が、今回一般質問で色んな多岐にわたってやっ

ていただいていますから、何でこうなるのかなと疑問を感じていただきたい。疑問を感じるということは、本当に良いことです。例えば村の住民の人たちが幸せになるためには、目的は住民の人たちの幸せ、水上村を住み良いまちにする。そういったことですけども、手法、色んな様々な手法があります。その手法を今のこのやり方ばかりではなく、こういったやり方をしてはどうか。そういったことも、本当に考えていただければ良いのかなと思います。そして、違う切り口から見た場合に、こういったものの考え方があるんだと私たちも知ることがあるかも知れません。そのことで、私たちも議会に諮っていく。そういう意味では、今日の子ども議会は、皆さん方にとっても自由ですし、私たち執行部、私、教育長、それから各課長全員揃っておりますので、私たちも耳を傾けてちゃんと皆さん方の話をお聴きします。そして、それには丁寧に回答していきたいと思います。そのことでまた、本当に必要と思うものについては、また、議会の皆さんに相談をしながら、そこを事業化していくということになっていきますので、自由な子ども議会ですので、しっかりと自分の言葉で発表していただき、そして問題を見つめていただければと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。それから、今日は学園の方から橋爪校長先生他、9年生に関係します先生方もおいでいただいて、それと、今日は村議会の議員さん8人全員傍聴席にいらっしゃいますので、皆さんがどういった質問をするのかを興味津々で見えていただいておりますので、どうぞ発表していただき、それに対して職員若しくは私からお答えしても不十分の時には、またもう一回質問していただいて、そのことも時間に余裕があれば可能でございますので、最後まで真剣に取り組んでいきましょう。よろしくお願ひしたいと思います。

○議長（川俣真人さん） ありがとうございます。

-----○-----

一般質問「国際理解」（1番議員 西 柊香さん、福田 莉子さん）

○議長（川俣真人さん） 本日は一般質問となっております。全部で7件の通告がありますが、通告順に一般質問を行います。それでは、一般質問を始めます。はじめに、1番議員の質問を許します。

○1番議員（2名） はい、議長。

○議長（川俣真人さん） 1番議員。

○1番議員（2名） はい。

〔質問席へ移動〕

○1番議員（2名） はい、議長。

○議長（川俣真人さん） 1番議員。

○1番議員（2名） はい。こんにちは。1番議員の西柊香です。福田莉子です。

○1番議員（西柊香さん） それでは通告書に基づいて質問します。

私たちの班では「国際理解」をテーマに水上村の国際理解に関する取り組みについて調査しました。現代社会はグローバル化が進んでおり、基礎的な英語力が求め

られています。また、今の水上村では外国の方が働いている場所はあるものの、実際に住んでいる方は少ないという現状があるということがわかりました。

そこで、現代社会において英語力が重要とされる中、現在、水上村では、子どもたちの英語力向上のために英語検定の無償化や English キャンプなどの様々な支援がなされています。今後更に、子どもたちの英語力を高めるための新たな取り組みを計画されていますか。

○議長（川俣真人さん） それでは、ただいまの質問に対して、幸野教育課長より答弁をお願いします。

○教育課長（幸野一樹君） はい、議長。

○議長（川俣真人さん） 幸野教育課長。

○教育課長（幸野一樹君） 教育課の幸野です。ご質問ありがとうございます。

議員の皆さんも、それぞれ英語力向上のため水上村教育委員会が実施しております様々な事業を活用していただいていると思いますが、まずは、今現在、村として英語力向上に取り組んでいること、支援していることについて、皆様ご存じかとは思いますが少しご説明させていただきます。

一つ目に、外国青年招致事業といたしまして、水上村在住のデイビッド・ロイ・ユールスタイン氏に、英語指導助手として、平成25年8月から村内の学校や保育所で指導いただいております。現在も水上学園で英語をご指導いただいております。

次に、英語検定検定料の無償化についてですが、こちらは令和元年度から始めたもので、村内の児童生徒の語学力の向上と学習意欲を高めてもらうために、実用英語技能検定、いわゆる英検と日本漢字能力検定、いわゆる漢検の検定料の補助金を支出いたしております。1つの級に付き、同じ年度で2回までの検定料を全額補助しており、令和6年度においては、英検で延べ41人、漢検で延べ172人分の補助金を支出いたしております。自らの学びを深めるためにも、議員の皆さんからも、下級生の皆さんに、この事業を使って英語や漢字の検定をできるだけ受けていただき、今よりも一つでも上の級に合格するように頑張ってくださいようお伝えいただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

次に、オンライン英会話です。こちらは令和2年度からの取り組みとなっておりますが、水上学園の児童生徒の皆さんにネイティブイングリッシュを経験していただくため、児童生徒と外国人講師（フィリピン）の方が1対1で、オンラインで英語レッスンを受けていただくことができる事業となっております。

更に、今年度、これまでの内容を見直しまして事業を実施いたしました、語学研修事業「English Camp」をご紹介します。こちらは、以前は海外ホームステイ事業として実施しておりましたが、令和2年度以降、新型コロナの影響や円安に

よる旅費の高騰、海外の治安の状況等により海外ホームステイ事業を行うことができなかったため、今年度から、国内を含めた語学研修事業として実施することとしたものであります。今年度におきましては、福岡市のNOVAホールディングス株式会社にお申し、人吉市内のホテルを使って、8月20日から22日の2泊3日で実施をいたしました。英検3級以上を取得された水上学園の生徒が対象で、4名の方に参加いただきました。イングリッシュキャンプの様子につきましては一般質問資料 ページに紹介させていただいております。

最後に、今年度、熊本県教育委員会からモデル校としての指定を受け実施している、AIの活用による英語教育強化事業です。県から提供いただいたAIアプリのエルサスピークにより、個別に最適化された学習教材を活用したり、生成AIとの英語での対話を行うことで、個人個人の発音を細かく分析してもらったりすることができるものでございます。

以上、令和7年度におきましては主に5つの事業に取り組み、英語力の向上を図っているところでございます。

議員ご質問の、今後さらに、英語力を高めるための新たな取り組みについてですが、今年度実施いたしました EnglishCamp につきまして、今年度は4名の参加でしたが、さらに多くの生徒の皆さんに体験いただくような企画ができないか、現在、教育委員会内部で検討を重ねているところでございます。また、今年度は熊本県のモデル校として実施しているAIを活用した英語教育についても、来年度以降、熊本県としてどうするのかはまだ決定されていませんが、実際に利用された先生や生徒の皆さんのご意見をお聞きし、有用であれば、水上村教育委員会としては今後も積極的に活用していきたいと考えているところでございます。

以上で説明を終わります。

○議長（川俣真人さん） 答弁ありがとうございました。1番議員から意見・提言などございませんか。

○1番議員（福田莉子さん） はい、議長。

○議長（川俣真人さん） 1番議員、福田莉子さん。

○1番議員（福田莉子さん） 子どもたちの英語力向上を図るために、水上村に住んでいる外国の方との交流の場を設けてはどうですか。例えば、水上村に住んでいる外国の方に水上学園に来ていただき、後期課程を対象とした交流の場を開くというようなイベントを開催することを提案します。これで質問を終わります。

○1番議員（2名） ありがとうございます。

-----○-----

一般質問「自然環境」（2番議員 瓦川 日愛さん、椎葉 遥さん、西 永遠さん）

○議長（川俣真人さん） 次に2番議員の質問を許します。

○2番議員（3名） はい、議長。

○議長（川俣真人さん） 2 番議員。

○2 番議員（3 名） はい

〔質問席へ移動〕

○2 番議員（3 名） はい、議長。

○議長（川俣真人さん） 2 番議員。

○2 番議員（3 名） はい。こんにちは。2 番議員の瓦川日愛です。椎葉遥です。西永遠です。

○2 番議員（椎葉 遥さん） それでは通告書に基づいて質問します。

私たちの班では、「自然環境」をテーマにして調査しました。近年私たちのまわりでは、雑草の成長が目立つようになりました。気温が上昇すると、雑草は非常に早く成長するため、常に雑草を取り除く必要があり、雑草を取らないと農作物の収量が減ったり、虫が大量に発生して農作物に害を与えることがわかりました。

○2 番議員（西 永遠さん） そこで、水上村では、雑草の除去や、鳥獣害を防ぐために、どのような取り組みを行っていますか。

○議長（川俣真人さん） それでは、ただいまの質問に対して田代産業振興課長より答弁をお願いします。

○産業振興課長（田代浩幸君） はい、議長。

○議長（川俣真人さん） 田代産業振興課長。

○産業振興課長（田代浩幸君） 産業振興課の田代です。2 番議員の質問にお答えします。

雑草は、農作物栽培において、栽培中の作物が吸収する成分を雑草が吸収したり、雑草があることによって、害虫の住み家になったり、水田や畑の周りに雑草が生い茂っていると、風通しが悪くなり、病気が増えたりします。

私も、近年気温が高い期間が長いため、草払いの回数が増えたように感じます。雑草の除去については、各農家が草払いをしているのですが、高齢化やそれに伴い担い手の栽培面積が増えているため、草払い作業も十分とは言えないところも見受けられます。

鳥獣害対策においては、子ども議会資料 2 ページ、有害鳥獣駆除として、作物に害を与えるシカやイノシシを中心に駆除を実施し、令和 6 年度は、シカ 7 4 6 頭、イノシシ 4 0 7 頭、サル 1 頭、合計 1, 1 5 4 頭を駆除しています。また、電気牧柵やネット、金網柵で圃場を囲んで対策を行う獣類被害防止資材設置補助を実施し、令和 6 年度は、電気牧柵 2 件、ネット 1 件、金網柵 2 件、合計 5 件に補助をしているところです。

以上で説明を終わります。

○議長（川俣真人さん） 答弁ありがとうございました。2 番議員から意見・提言などございませんか。

○2 番議員（瓦川日愛さん） はい、議長。

○議長（川俣真人さん） 2 番議員、瓦川日愛さん。

○2 番議員（瓦川日愛さん） 今後、雑草を根元から完全に除草せず、昆虫が生息できる自然な環境を残し、除草・害獣駆除の方法を変えることで、虫に農作物を食べられたり、自然の環境を守ることができるのではないのでしょうか。また、虫や動物による被害を減らすために、人工林を増やすのではなく、天然林を多く残し、はげ山に木を植える等の取り組みが大切だと思います。天然林は根が深く張り、枝も四方に広がるため、土砂崩れが起きにくく、動物の食料も豊富になります。こうした森林環境を整えることで、動物が畑を荒らすことも減ると考えます。

○2 番議員（3 名） ありがとうございます。

-----○-----

一般質問「地方創生」（3 番議員 余利 峻さん、西川 風音さん）

○議長（川俣真人さん） 次に 3 番議員の質問を許します。

○3 番議員（2 名） はい、議長。

○議長（川俣真人さん） 3 番議員。

○3 番議員（2 名） はい。

〔質問席へ移動〕

○3 番議員（2 名） はい、議長。

○議長（川俣真人さん） 3 番議員。

○3 番議員（2 名） はい。こんにちは。3 番議員の余利峻です。西川風音です。

○3 番議員（余利 峻さん） それでは通告書に基づいて質問します。

私たちの班では「地方創生」をテーマにし、調査しました。

現在、少子高齢化は国としての課題となっており、水上村もそのような課題を抱えていると考えます。そのため、村内の人口を増やす取り組みとして、近年では、アウトサイドフェスティバルやマウンテンパーティーといった観光イベントに力を入れている事を知りました。また、青山学院大学陸上競技部との交流を通じて関係人口を増やす取組や、スカイヴィレッジやサクラヴィレッジといった運動施設を整備するなど、スポーツの分野で水上村の特色を出すために積極的に取り組まれていることが分かりました。

そこで、観光施設やスポーツ施設を整備したことによって、どのような経済効果が得られましたか。また、今後更に、観光面やスポーツ面において、取り組む予定がある場合は、どのような施策を行われる予定ですか。

○議長（川俣真人さん） それでは、ただいまの質問に対して、那須地方創生推進課長補佐より答弁をお願いします。

○地方創生推進課長補佐（那須裕平君） はい、議長。

○議長（川俣真人さん） 那須地方創生推進課長補佐。

○地方創生推進課長補佐（那須裕平君） 地方創生推進課の那須です。3 番議員のご質問に

お答えいたします。

はじめに、「観光施設やスポーツ施設を整備したことによって、どのような経済効果が得られましたか。」のご質問につきまして、お答えいたします。地方創生推進課で管理しております施設は、平成29年度に完成しましたクロスカントリーコース「水上スカイヴィレッジ」、令和3年度に完成しましたトレーニング施設「水上サクラヴィレッジ」、令和6年度にリニューアルオープンしました市房キャンプ場「アウトサイドベースみずかみ」の3施設でございます。令和6年度の経済効果についてですが、「水上スカイヴィレッジ」におきましては、利用者数9,690人、合宿宿泊者数5,991泊となっております。「サクラヴィレッジ」におきましては、利用者数2,646人、アウトサイドベースみずかみにおきましては、宿泊者数1,939泊となっております。令和6年度におきまして、合宿客宿泊者数5,991泊、イベント宿泊者数905泊、キャンプ場宿泊者数1,939泊、観光客宿泊者数1,808泊、仕事関係者泊2,600泊となり全体で13,000泊ほどが年間水上村へ宿泊されております。その中で観光分野と、スポーツ分野での宿泊者数は約11,000泊となりまして、約1億円近い宿泊費が水上村への経済効果が出ていると考えられます。また、水上村の第三セクターであります、株式会社みずかみが経営しております「物産館水の上の市場」、「山の幸館」においては、日頃から観光客への特産品の販売やお食事処としての受け入れ機能に加え、物産館水の上の市場に出荷する生産者で組織します「水上村物産館出荷協議会」におきまして、熊本市内にあります、びぶれす熊日広場物産展を毎週水曜日間40回程度実施し、年間約35,000千円の売り上げがあります。また、物産品地産地消推進の取り組みとして、7月から8月にかけての合宿繁忙期に村内の物産品を集荷し、各民宿旅館へ訪問販売を行う集荷販売事業を実施し、地産地消にも努めております。自社での外販や観光客及び合宿等での地産地消を実施し、株式会社みずかみ会社全体の売り上げは年間約85,000千円程度になります。また、昨年度より青山学院大学陸上競技部とユニフォームロゴ契約を結びました。箱根駅伝大会などのメディア露出の費用対効果は年間8億円とも言われております。この事業につきましても、水上村PRとしての経済効果も発揮していただいております。

「今後更に、観光面やスポーツ面において、取り組む予定がある場合は、どのような施策を行われる予定ですか。」のご質問につきまして、お答えいたします。現在、旧湯山小学校宿泊施設につきましては、「アスリートから高齢者まで」をテーマに、健康とスポーツをキーワードにした社会的要請の高い調査・研究・教育を積極的に推進する宿泊型施設を整備しております。基本となる柱が3本ございまして、まず1番目に、健康・スポーツ科学領域に関する研究を、アスリートのみならず子供、一般成人、高齢者まで最新機器を用いた社会的要請の高い還元型の研究を積極的に行い、計

測-データ処理-フィードバックを行うことで、自らの身体機能や心理状態を知ることができる機会を提供し、得られたデータをもとに、自身の日常生活に活用して頂きます。全住民の計測を毎年行い、予防治療を早期に行うことで、健康寿命を延ばす事業を展開していきたいと計画しております。2番目に、健康寿命の延伸のため、食の意識を高めるための食堂を整備し水上村民の食育に貢献します。計測を行った後に、年代別に応じた、今後の健康維持のためにどのような食事習慣を行ったら良いのか、実際に食事の提供を行いながら、管理栄養士が食事指導を行います。3番目に、日々のちょっとした睡眠不足が知らない間に蓄積し、心身へのダメージや生活習慣病などのリスクを高めてしまう”睡眠負債”の恐ろしさについて学び、「健康睡眠」を通じて健康的な生活をサポートする、睡眠指導を行います。また、昨今の多発している災害に対して、防災拠点施設としても使用できる宿泊ルームを完備することにより、多くの住民が避難に対応出来る施設を準備します。旧湯山小学校跡地横には、400mトラック陸上競技場を建設しております。この施設が完成しますと、陸上の短距離、サッカーなどの新たな種目の合宿誘致が出来るようになります。サッカーにつきましては、国内外、マンチェスターシティ、川崎フロンターレなどプーマ関連団体の強豪サッカーチーム及び、学生サッカーチームの合宿誘致や海外のプーマ関連団体の陸上チームの合宿誘致を推進できることで、目の前でプレーを見ることができ、また、体感できる機会も生まれます。水上学園において、アスリート支援として、国内外の有名選手からの講演、直接指導を受けられる機会が生まれます。これらは、スポーツ全般のスキルアップにも繋がります。短距離合宿やサッカー合宿誘致が進みますと、今まで以上に、村内の観光、商工など更なる活性化を図れると同時に、お米など村特産品の地産地消の拡大及び、生産者の所得増に繋がると思います。

以上でございます。

○議長（川俣真人さん） 答弁ありがとうございました。3番議員から意見・提言などございませんか。

○3番議員（西川風音さん） はい、議長。

○議長（川俣真人さん） 3番議員、西川風音さん。

○3番議員（西川風音さん） 現在、観光施設やスポーツ施設は湯山地区に多く整備されています。そこで、村内の人口を増やすとともに水上村全体を活気づけるために、岩野地区にも施設を整備することを提案します。岩野地区にはほいほい広場がありますが、そこに遊具やバスケットコート等、運動ができる施設を設ければ運動を目的に利用する人が増えると思います。

○3番議員（2名） ありがとうございます。

-----○-----

一般質問「財政」（4番議員 藤田 颯介さん、上米良 風音さん）

○議長（川俣真人さん） 次に4番議員の質問を許します。

- 4番議員（2名） はい、議長。
○議長（川俣真人さん） 4番議員。
○4番議員（2名） はい。

〔質問席へ移動〕

- 4番議員（2名） はい、議長。
○議長（川俣真人さん） 4番議員。
○4番議員（2名） はい。こんにちは。4番議員の藤田颯介です。上米良風音です。
○4番議員（藤田颯介さん） それでは通告書に基づいて質問します。

私たちの班では、「財政」について調査しました。一般会計予算の総額が前年度より11億9300万円も増えており、その理由はスポーツ環境整備事業の予算組み換えに合わせた事業費、災害復旧事業費、ふるさと寄附金が主な要因であることがわかりました。

今年はスポーツ環境整備事業の予算によって一般会計予算の総額が増えていましたがこれからも一般会計予算は上がっていくと考えられますか。

- 議長（川俣真人さん） それでは、ただいまの質問に対して、田代総務課長より答弁をお願いします。
○総務課長（田代浩章君） はい、議長。
○議長（川俣真人さん） 田代総務課長。
○総務課長（田代浩章君） 総務課の田代です。それでは、4番議員のご質問にお答えいたします。

まず、令和7年度一般会計当初予算ですが、60億8000万円、昨年度、令和6年度が48億8700万円となっておりまして、差し引きますと、調査結果にございましたとおり、11億9300万円の増となっております。増の主な要因でございますが、先ほど調査結果にもございましたとおり、スポーツ環境整備事業の予算組み換えに合わせて、事業費が増えましたので、3億5320万円の増によるもの、そして、災害復旧事業費での3億1390万円の増、更に、ふるさと納税において2億円増の5億円を見込むことによる積立金と関係経費の増が主な要因となっております。

今後も一般会計当初予算が増えていくのかというご質問でございますが、本村では昨年度「第6次総合計画」を策定しております。この計画は、水上村の最も重要な計画で、令和7年度から令和16年度までの10年間の計画となります。その中で、前期となる令和7年度から令和11年度までの5年間の実施計画、この計画は、何年度、何の事業に、いくら必要かを一覧にした計画でございまして、一般質問資料の20ページをお開きください。これによりますと、大きなものでは、15番、16番のスポーツ環境整備事業で、15番、旧湯山小学校活用整備では、概算事業費が7億4830万円、そのうち令和7年度は、6億6830万円となりますが、令和8年度以

降は、維持管理経費の２０００万円のみとなりますので、差し引きますと６億４８３０万円の減となります。また、１６番、陸上競技場整備では、概算事業費が１７億５５９０万円、そのうち令和７年度は、造成工事７億４０９０万円のみですが、令和８年度にはトラックの本体工事１０億円が計画されていますので、単純に差し引きますと２億５９００万円の増となり、令和９年度以降は、維持管理経費のみの５００万円となり、令和８年度からは９億９５００万円の減となります。このように、令和７年度当初予算額に総合計画を踏まえて比較していった場合、資料２１ページ下段の総計を見ていただきますと、令和８年度は令和７年度より、約５億４０００万円の減の３億６８００万５千円、令和９年度は令和８年度より、約７億３千円の減の２億９４８４万１千円、令和１０年度は令和９年度より、約９千万円の減の２億８５３６万１千円という形で、減少していくものと予想してございます。

しかしながら、２０ページの上段に戻っていただきまして、４番、ふるさと寄附金事業では、令和７年度は寄附額を５億円見込んでおり、その約半分２億６８７４万１千円を事業費として計上しており、令和８年度以降は、寄附額３億円を見込み、その半分１億５０００万円を事業費と計上してございます。例えば、令和８年度において、寄附額が一気に１０億円まで伸びた場合は、事業費もその半分の５億円に増え、計画との差が、３億５０００万円増える形になります。また、５年間の総合計画の途中で、新たに事業が出てきた場合には、当然その分の事業費が増えてまいりますので、一概に減っていくとも言い難いところでございますが、本日は、これらを加味しない、総合計画を反映した形での回答とさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

○議長（川俣真人さん） 答弁ありがとうございました。４番議員から意見・提言などございませんか。

○４番議員（上米良風音さん） はい、議長。

○議長（川俣真人さん） ４番議員、西川風音さん。

○４番議員（上米良風音さん） 現状についてはよく分かりました。水上村公式 youtube チャンネルの登録者数は９月現在１２７人、Instagram のフォロワーは１１５７人です。登録者数やフォロワーの数を増やすために、毎年行われるマウンテンパーティーの広告を youtube などにだしたり、運動好き以外の方には日本で top の本数とも言える一万本桜を宣伝することが考えられます。

また、これらの登録者、フォロワーからリツイートしてもらうことで、より多くの方たちに水上村を知ってもらうきっかけになり、観光やスポーツイベントの収益化が図られると思います。

○４番議員（２名） ありがとうございました。

-----○-----

一般質問「社会保障」（５番議員 椎葉 乙羽さん、足立 杏樹さん）

○議長（川俣真人さん） 次に５番議員の質問を許します。

○５番議員（２名） はい、議長。

○議長（川俣真人さん） ５番議員。

○５番議員（２名） はい。

〔質問席へ移動〕

○５番議員（２名） はい、議長。

○議長（川俣真人さん） ５番議員。

○５番議員（２名） はい。こんにちは。５番議員の椎葉乙羽です。足立杏樹です。

○５番議員（椎葉乙羽さん） それでは通告書に基づいて質問します。

私たちの班では、「社会保障」について調査しました。現在、日本では少子高齢化や人口減少、地方の過疎化に直面しており、これらの問題に対応するために社会保障制度の持続可能性の確保と機能強化が求められています。この水上村では、健康、高齢者、子育て、教育、交通、医療、住宅、生活、出産などさまざまな補助金を支給していることがわかりました。その額は十分に私達の生活を支えるものとなっていることを実感しました。

そこで、子供から子育て世代、高齢者まで幅広い補助がありますが、保健福祉課では、一年間でどのくらいの補助金を支給しているのでしょうか。その中で村の財政にとって負担はないのですか。また、その方針を今後も続けていくのですか。

○議長（川俣真人さん） それでは、ただいまの質問に対して、西本保健福祉課長より答弁をお願いします。

○保健福祉課長（西本克幸君） はい、議長。

○議長（川俣真人さん） 西本保健福祉課長。

○保健福祉課長（西本克幸君） 保健福祉課の西本です。５番議員の質問にお答えいたします。

ただ今、ご質問がありましたように、水上村では、子どもから高齢者まで幅広い世代が安心して暮らせるよう、たくさんの補助金を用意しています。まずは、保健福祉課が行っている、子どもから高齢者までの補助事業の内容と、令和６年度の支給額について説明いたします。

保健福祉課が担っている社会保障では、大きく分けると保健分野と福祉分野がございます。保健分野では、健康を守る仕組みとして、医療費の一部を公費で負担して、安心して医療を受けられるようにするものです。また、感染症対策、予防接種、健康診断など、病気にならないための予防事業がございます。また、福祉の分野では、高齢者や障がい者の福祉、児童やひとり親家庭への支援などを行っています。ここで、配布しています資料①をご覧ください。ここに令和６年度の補助金一覧表がございますが、保健福祉課が行っている２５の事業の補助金及び助成金の支払い状況を示して

おります。個人に補助するものの他、村内の福祉団体の活動に関する補助金、老人クラブへの補助金、医療機関への補助金等がありまして、令和6年度の補助金の合計金額は、全体で49,420,930円でした。村全体の基本的な財政運営を行う一般会計の補助金額のうち保健福祉課の補助金が占める割合は13.9%となります。この資料の中で、個人が利用される補助金について、いくつかご紹介したいと思います。黄色塗の部分となります。まずは、子育てや出産を応援する補助金として、妊娠が分かった時に1人につき5万円、子どもが生まれると更に1人につき5万円が補助金として受け取れます。次に鍼灸費補助金は、鍼やお灸を受けるとき、1回につき1,000円を補助するものです。新生児聴覚検査費補助金は、赤ちゃんの耳の聞こえを調べる検査の費用を、村が全額負担しているものです。次に、インフルエンザ予防接種補助金は、昨年度、144人の方に補助金を出しています。ワクチン関連の補助としまして、風しん、おたふくかぜ、定期予防接種の補助を行っております。人間ドック補助金は、30歳以上の方が対象で、健康チェックの検査費用として補助しているものです。新型コロナウイルスワクチン接種補助金は、病院に出向いて接種した際の補助金となります。このように、補助金は本人が支払いをして、その実績をもとに申請者に補助するものです。その他に、病院等で行う健康診断やワクチン接種など医療機関と契約して行っている事業もあります。住民が負担するお金を村が委託料という名目で医療機関に支払っており、補助金に値するものがございます。この委託契約については、資料②をご覧ください。子どもから高齢者まで、体の検査やワクチン接種を受けられるように、記載してある各医療機関などと契約をして、村民の健康維持に努めているところでございます。この表で黄色塗をしているところが医療機関と契約をしている事業となりますので、ご確認していただきたいと思います。その他、各団体や組織に対しての補助金や委託料も記載のとおりでございますので、合わせてご確認ください。

また、資料はございませんが、この他に、個人や世帯の生活、福祉を直接支える経費として扶助費という予算がありますが、この中には、高校3年生までの医療費扶助や障がい者の支援、児童手当などがございます。保健福祉課の扶助費合計は、121,754,966円となっています。これも社会保障の一部でございます。その他、報償費という予算の中には、出産祝金としまして、1人目の子どもが産まれた時に20万円、2人目に30万円、3人目以降は50万円を支給する制度もございます。令和6年度から増額して支給しています。

ご質問の中で「財政の負担はないのでしょうか」という質問がございしますが、村では、国や県などからの補助金等を活用しながら、水上村は健全な財政運営のもと、様々な事業を展開しております。また、近年、ふるさと納税額も他の市町村と比べると寄付額が多い状況で、令和6年度は、533,937,100円のふるさと納税がござ

いました。このふるさと納税には、保健福祉課が関係する「保健・医療等の向上」という事業があり、そこには現在、267,750,750円の寄付額を積立てしてあります。その他、村では、必要な事業を行うために基金という名前の貯金を積立てしています。「いきいき人づくり基金」は、現在、463,864,577円を積み立てし、子どもから高齢者まで、必要な施策を行うための貯金となります。また、「子ども育成支援基金」は、655,186,543円積み立てしており、子どもに関する事業を行う時の貯金となります。村には他にも目的を持った24の基金があり、総額は、5,230,491,505円の社会保障等に利用できる基金があります。

このような貴重な資金を、必要に応じて補助金などに利用しながら、村の財政に負担がかからないよう、計画しながら事業を進めています。今後も、水上村では、住民の皆様が安心して暮らせる「住みやすい村」を目指して、子どもから高齢者まで、村の社会保障に係る補助事業等を継続してまいりたいと思います。

以上で答弁を終わります。

○議長（川俣真人さん） 答弁ありがとうございました。5番議員から意見・提言などございませんか。

○5番議員（足立杏樹さん） はい、議長。

○議長（川俣真人さん） 5番議員、足立杏樹さん。

○5番議員（足立杏樹さん） 水上村には保健福祉課以外でも、多くの補助があり、住みやすい環境が整備されています。そこで、この魅力を広く知ってもらい、より多くの人に移住してもらうために、補助金の制度について、水上村村民以外の多くの方々にもわかりやすく知らせる工夫が必要だと考えます。現在は商品券などの配布が行われていることは知られていますが、補助金そのものについて十分理解している人は少ないと思われます。そこで私達は、水上村の補助金の制度をチラシやポスターにまとめて村外でも掲示、配布するなどして広く周知することを提案します。

○5番議員（2名） ありがとうございました。

————○————

一般質問「建設」（6番議員 野田 健さん、梅原 陽向さん）

○議長（川俣真人さん） 次に6番議員の質問を許します。

○6番議員（2名） はい、議長。

○議長（川俣真人さん） 6番議員。

○6番議員（2名） はい。

〔質問席へ移動〕

○6番議員（2名） はい、議長。

○議長（川俣真人さん） 6番議員。

○6番議員（2名） はい。こんにちは。6番議員の野田健です。梅原陽向です。

○6番議員（野田 健さん） それでは通告書に基づいて質問します。

私たちは「建設」について調べました。昨年水上村の国道 388 号線湯山峠工区が完成し、道路が整備されたことによって「水上スカイヴィレッジ」へのアクセスが向上したこと、また熊本県人吉・球磨地域と宮崎県の椎葉村を結ぶ生活の基盤路線としての利便性が高まりました。

今後施設の利用者が増えると思いますが、アスリート用のコースの整備をはいかがでしょうか。老朽化した道路の整備を行うことでより多くのアスリート選手が快適に走ることができるのではないのでしょうか。

○議長（川俣真人さん） それでは、ただいまの質問に対して、信國建設課長より答弁をお願いします。

○建設課長（信國俊輔君） はい、議長。

○議長（川俣真人さん） 信國建設課長。

○建設課長（信國俊輔君） 建設課の信國です。それでは、6 番議員のご質問にお答えします。

まずは、国道 388 号の概要についてご説明いたします。国道 388 号は、大分県佐伯市を起点に、宮崎県延岡市、椎葉村、熊本県水上村などを経由し、湯前町に至る道路で、総延長 225.8 km の国道でございます。県境の湯山峠付近は、急カーブが連続し、見通しが悪く、普通自動車同士でも擦れ違ふことが困難な場所も多かったため、平成 28 年度熊本県により道路改築事業が着手されました。一般質問資料 28 ページをお願いいたします。国道 388 号（湯山峠工区）道路改築事業の概要について、ご説明いたします。改築事業により、道路延長も 2.8 km から 2.4 km に短縮されています。内訳につきましては、一般部の 3 種 4 級といわれる幅員 7.0 m の道路が 1.3 km、急峻地形部の 3 種 5 級といわれる幅員 5.0 m の道路が 1.1 km となります。事業期間につきましては、平成 28 年度の道路詳細設計から始まり、平成 29 年度に用地取得、改良工事に着手し、令和 6 年度までの 8 年間、総事業費約 29 億円を投じ、完成しました。水上村は面積の約 92% が森林であるため、本村の基幹産業である 林業関係者や平成 29 年度にグランドオープンした「水上スカイヴィレッジ」の利用者など、多くの方々に喜ばれています。特に、買い物や通院など 生活圏が球磨人吉地域にある、宮崎県 椎葉村民の救急医療や、生活における「命の道路」としての役割も大きく、また、南海トラフ地震など 大規模災害が発生した際の熊本県側への避難道路として、重要な役割を担うストック効果の高い道路として位置づけられています。この「ストック効果」とは、道路など社会資本が整備され、継続的に機能を発揮する効果のことで、主なものとして、堤防やダムによる水害リスク低減などの「安全・安心効果」、道路整備による事故防止の低減などの「生活の質の向上効果」、道路整備による移動時間短縮などの「生産性向上効果」のことを意味します。

令和2年からのコロナ禍により一時、利用者が減少したスカイヴィレッジについても、国道388号改築工事の完成により、ピーク時の約1万人に戻りつつあります。また、スポーツ合宿による宿泊者も増加傾向にあり、特に市房ダム湖周辺の道路は比較的平坦であるため、朝夕のランニングコースとして活用されています。しかしながら、市房ダム湖周辺の道路を見てみると、国道388号については道路改良工事が完了しているものの、江代方面へ向かう県道上椎葉湯前線、村道湯山江代線においては、道幅が狭く、見通しが悪い箇所もあるため、車と人がお互い安全に通行出来ない場所もあります。車と人が安全に通れる道路整備のためには、道路改築工事を行うことが理想ですが、市房ダム湖周辺において道幅を広げるためには、山を大きく切り開くことや、橋を架け替えて見通しを良くするなど、莫大な予算と多くの時間がかかることが課題となります。そのような中で、今後の道路整備については法律で定められた定期点検の結果を基に、老朽化した道路や橋など優先順位をつけ、計画的に補修することとしています。

一般質問資料29ページをお願いします。現在、球磨人吉地域においては、「人、自転車、自動車」が安全に通行できるよう自転車通行空間の整備が行われています。右上の市房ダム湖周辺が水上村のサイクリングコースとなりますが、本村においては岩野地区から市房ダム湖を1周するコースが設定され、令和7年度においては国道、県道 約1.0kmの整備が計画されています。一般質問資料30ページをお願いします。村道湯山江代線における、自転車空間整備のイメージ図となります。今後、水上村においても傷んだ舗装の整備や自転車専用レーンの路面標示、いわゆる「矢羽根」の設置や、カラー舗装の設置を計画しています。自転車空間整備により、人と自転車の通行レーンの確保と、車を運転するドライバーへの注意喚起を促し「人と自転車と自動車」が、それぞれに安全・安心に通行が出来るよう、早期の整備に取り組み、アスリートにとっても魅力ある道路整備を行って行く予定としております。

以上で答弁を終わります。

○議長（川俣真人さん） 答弁ありがとうございました。6番議員から意見・提言などございませんか。

○6番議員（梅原陽向さん） はい、議長。

○議長（川俣真人さん） 6番議員、梅原陽向さん。

○6番議員（梅原陽向さん） 現在、ダム湖周辺の一般道では、競技者用コースが狭く、安全に車が走行できない状態になっています。そこで、危険なく車と競技者が走ることが出来るように、競技者用コースを色分けすることを提案します。

○6番議員（2名） ありがとうございます。

-----○-----

一般質問「保健福祉」（7番議員 永石 紗和さん、木下 智陽さん）

○議長（川俣真人さん） 次に7番議員の質問を許します。

○7番議員（2名） はい、議長。

○議長（川俣真人さん） 7番議員。

○7番議員（2名） はい。

〔質問席へ移動〕

○7番議員（2名） はい、議長。

○議長（川俣真人さん） 7番議員。

○7番議員（2名） はい。こんにちは。7番議員の永石紗和です。木下智陽です。

○7番議員（永石紗和さん） それでは通告書に基づいて質問します。

私たちの班では「保健福祉」について調査しました。日本では年々少子高齢化が進んでおり、未婚化・晩婚化・晩産化などが要因であることが分かりました。また、水上村では子育てをする方々や村民がよりよい暮らしを実現できるよう、様々な助成金や補助金が支給されていることが分かりました。

子育て支援のために様々な助成金や補助金が支給されていますが、この制度によってどのような効果を得られましたか。また、今後はこのような「助成金」や「補助金」以外にどのような取り組みを計画されていますか。

○議長（川俣真人さん） それでは、ただいまの質問に対して、西本保健福祉課長より答弁をお願いします。

○保健福祉課長（西本克幸君） はい、議長。

○議長（川俣真人さん） 西本保健福祉課長。

○保健福祉課長（西本克幸君） それでは、7番議員の一般質問についてお答えします。

本村では、子育て支援として、幼児から高校生まで様々な補助事業を行っています。先ほどの一般質問では、保健福祉課関係の補助事業等を一部説明しましたが、保健福祉課以外では、教育課の方でも子育て支援を行っています。一部紹介しますと、高等学校等通学費補助金として、高校に通う生徒の交通費などの補助を行っています。また、語学検定料補助金として、英検や漢検を受けるときの検定料の補助を行っています。その他、家庭学習の通信費補助として、インターネットなどを使った家庭学習のための通信費を支援し、体験学習や修学旅行の助成として、学園で行われている体験学習や修学旅行にかかる費用を支援しています。また、今年度から、「水上っ子みらい応援助成金」として、水上学園1年生になる時に1人あたり10万円、7年生になる時に15万円、高校生になる時に20万円を段階的に助成するように致しました。このように、人づくりの重要性を踏まえながら、人への投資を行っているところです。

このような子育て支援を行っている中、「この制度によって、どのような効果を得られましたか」というご質問でございますが、まずは、子どもを養育する親の負担が軽減され、近年の物価高騰対策としても十分な効果が得られていると思います。また、安心して子どもを育てる環境が整っているということで、合計特殊出生率、いわゆる、ひとりの女性が49歳になるまでの間に産む子どもの平均数は、平成30年から令和

4年の5年間の平均で、水上村は1.92人となっています。これは球磨・人吉地域の10市町村では1位であり、熊本県内では2位、全国では統計データ1887市区町村の中で24位という相当高い順位となっています。このように、データでも示しているとおり、本村の子育て支援策が整っているからこそ、高い出生率となっており、水上村が行っている子育て支援の効果が十分に出ているものと思います。子どもが増えれば、地域の衰退も防げますし、また、今後、移住者の増加にも期待でき、地域の活性化にも繋がるものと思います。

また、「今後はこのような助成金や補助金以外にどのような取り組みを計画されていますか」という質問でございますが、水上村では、令和7年度から令和16年度までの10年間ににおける、あらゆる事業を盛り込んだ第6次総合計画を策定しております。この策定にあたっては、昨年度、住民の意見や提案を伺うための住民座談会を各地区で開催し、子どもから高齢者まで、住民の生活に関わるあらゆるご提案を頂いております。その他、子ども子育て支援計画という5ケ年間の子育て支援に特化した計画書を作成しました。この計画書策定では、0歳児から小学校6年生までを養育されるご家庭にアンケートを実施し、その中で、満足度5という、一番高い評価をいただいたところです。また、アンケートでは、子育てに関する意見も伺っておりますので、今後も、このようなアンケート調査などの意見も踏まえながら、安心して水上村で子育てができるよう支援の充実を図り、時代に合った施策を計画的に行っていきたいと思っております。

以上で答弁を終わります。

○議長（川俣真人さん） 答弁ありがとうございました。7番議員から意見・提言などございませんか。

○7番議員（木下智陽さん） はい、議長。

○議長（川俣真人さん） 7番議員、木下智陽さん。

○7番議員（木下智陽さん） 今後さらに少子高齢化が進むと考えられます。そこで、水上村でも子育ての経済的・心理的な不安を減らすための取組が必要だと思います。例えば、現在、子育て中の方々にアンケートを取り、「大変だと感じている点」や「こうしてほしい」という希望を把握し、それをもとに対策を進めてはどうですか。さらに、人口増加につなげるため、20年間水上村に在住することを条件に出産祝い金を子供一人につき、500万円にするという制度を設けてはどうでしょうか。

○7番議員（2名） ありがとうございます。

————○————

○議長（川俣真人さん） 以上で一般質問は終わりました。

今日は、水上村のことを色々教えていただきありがとうございました。

将来を担う私たちが水上村に対して考えたこと、疑問に思ったことなどを質問させ

ていただきました。それに対して一つ一つ丁寧に答弁していただきました。そのおかげで地方自治についてより一層理解を深めることができました。水上村の課題を解決していくために、今、私たちができることを考え、行動し、よりよい未来を築いていきます。

これで、水上村「子ども議会」のすべての日程を終了します。本日は大変お忙しい中、本当にありがとうございました。

-----○-----

閉会 午前11時06分